

WELCOME TO HEARTS VILLAGE

アメ車と遊びにまつわる狂想曲。

発行: HEARTS RIZING 監修: 財研 株式会社

※U.S.CAR※
KUMAMOTO SIMONA BASE
SUV&TRUCKIN'

2009年総括!

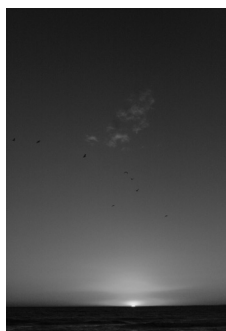
人はパンのみに生きる者にあらず

「2009年を一文字に例えると「歩」。」

『HEARTS RIZING』代表の山本です。いつも我々の情熱を真摯に受け止めて頂くと同時に「ご愛顧頂き、この場を借りて御礼を申し上げます。」

今年最後の「ハーツヴィレッジ」ということで、2009年を振り返ってみたいと思う。年のスタート時、抱負としては「歩」の一字を挙げたのを覚えている。なぜか?それは、何となく不景気の波を予想していたため、一步一步を大切にじっくり歩んでいこうと心に決めたからだ。このま、ここまで大波になったとは予想外でした。創業して10年間で、ダンツに難しい一年だった。本当に悩みに悩んだ。本当に不況感が身に染みた。だが不思議なことに、辛かったというようなネガティブな思いは一つも残っていない。むしろ、そんな時代に今いるスタッフ全員でサヴァイブした一年が、愛おしくもある。前述したような「一步一步前にじっくり進む」なんて年明けの抱負はどこえやらなほど、二、三歩大股で歩いたり、止まったり、地団駄踏んだり。全然じっくり一步一步なんて進まなかったけど、えいやーって前めりになって全員で前進した

ことは、誰にも否定できない事実である。



我々の究極のミッション

「人が自分自身の素晴らしさに気づき、本当の幸せを見つけるためのお手伝いをする」とだと思っている。そのタッチポイントとしてアメ車というキーワードがあるだけで、決して車体売って終わりではないのだ。それはただの物売りで、別に弊社である必要もない。我々の存在価値もない。「人はパンのみに生きる者にあらず」なのだ。

2009.12.24 PM7:07-

「前進行する」。それも中途半端な勇気ではなく、全身全霊を込めて、白黒ハッキリさせ、勝負師の眼光で、直往邁進あるのみ。A man is a sum total of all the people he has met in his life (人間とは、その人がいままでの人生の中で出会った、すべての人の総和である) という言葉にある通り、2010年も皆様と関わることで人間として、そして地元企業としてボトムアップできればと思っている。そして夏には、毎号でカウントダウンをしている通り、夢にも描いた「伝説の森」も完成予定だ。待ち遠しくてたまらない(ニヤリ)。ここを拠点として「車X遊び」というフレームワークの中、食・ファッション・サブカルチャーなどハーツらしいものを皆さんにお届けできれば、これ幸い。来年もご鼻肩に宜しくお願致します。

せっかくなのでハーツ村の皆さん

を前にして、早いですが2010年の抱負を語りたいと思う。来年のテーマとしては、「勇」という字を挙げたい。「勇ましく、勇気を持つ



(有) ハーツライジング 代表・山本英俊



ハーツ村の住人、いらっしゃ〜い

▶▶今月はビューティ常連さん、カモーン! Vol.9

- ①名前 ②年齢 ③趣味 ④最近嬉しかったこと ⑤一言もの申す!

今月の住人さんは 「茂見知沙」さん

- ①シゲミチサ
- ②23歳
- ③旅行
- ④K1500を買って、
ちょうど1年目の誕生日♥
- ⑤CoCoイチもいいけど、
カレーはやっぱりインドカレーよん♪



友達
結婚するう!



いつも明るく元気な
キュートガール。
愛嬌がある美女発見!

次のお友達紹介は、ウワサの●●●さんが登場!?

村の中心で メッセージを叫ぶ黒板

■ニュースター「HEARTS VILLAGE」のご意見・ご感想

シセ田 秀人という男について...
優しくて、おもしろくて、ダンディーで
パーフェクト (笑) 正男だ!! 本当に

■ハーツ村スタッフへ、ひと言メッセージ!

ニューフェイスゆうたくん ☆
楽しくて、笑も沢山つまって、
ハーツが大好きになって下さいね

PN????さん

今月も嬉しい
コメントを
沢山頂きました!
ありがとうございます (涙)

■ニュースター「HEARTS VILLAGE」のご意見・ご感想

「シセ田秀人という男」
産知れぬ何かを秘めている。いや、系。

■ハーツ村スタッフへ、ひと言メッセージ!

これのかわも人生に、頑張って
下さね

PN/三代目さんと、お嫁さん

2010.08.02 (Mon) そして伝説の森へ 今年一年、本当によく頑張った (涙)

ハーツ村の「伝説の森」も開園(?)を宣言し、
先月お伝えした通り、おかげ様で整地着工と相成りました。

それもこれも、ハーツ村の皆さんの声援があったから。
汗と涙と男と女。
七転八倒し、気づいたらここまで来られてました。

———伝説の森を作りたい。
それはハーツの夢であり、私自身の人生を賭けた夢でもあります。

アメ車に囲まれ、友人や家族、お客さんたちと
食べて、飲んで、遊んで、
そして、朝まで笑い転げて語り合う。

そんな「絵」がよく似合う場所。
それこそが伝説の森なのだ。

某アイドルの番組のダツ●ユ村を観た時、
正直、「やられたあ〜!!!」そう思った。

俺が描いていたようなものを、実践している。

くそ〜、羨ましい。

そう思い、自分が描く伝説の森の話をいろんな人にしていった。

夢のまた夢と思っていたのに、
いろんな人に語れば語るほど、
どんどん現実化していった。

やはり夢は周りに、大いに語り続けるべきだ。
そう実感した2009年だった。

あと残り8ヶ月。

一つの夢が手に入るって、こんな感触なのか。
ドキドキする。

2010年は、ハーツ村の住人たちとこの場所で、
いろんな夢について語り合える時間ができればと
心底、そう思ってやまない。